

Cariot ステップマニュアル



はじめに

この度はCariotをご契約いただきまして、誠にありがとうございます。
ごさいます。

本冊子では、みなさまにCariotをご活用いただけるよう、
最初に決めるべきことや必要な設定方法についてまとめ
ております。

皆様の業務改善にお役立ていただければ幸いです。

目次

Step0 : Cariotで使う用語を知る

- ・用語集

Step1 : Cariotで何をするか決める

- ・利用スケジュールを確認しましょう
- ・Cariotを導入する目的の整理と問題の仮説を立てましょう
- ・仮説を検証するためのモニタリング指標を設定しましょう
- ・運用のルールを決めましょう

Step2 : Cariotの利用開始作業をする

- ・Cariotの機能を知りましょう
- ・初期設定をしましょう
- ・デバイスを取付けましょう
- ・データを見てみましょう

Step3 : Cariotの基本機能を覚える

- ・目的に沿った利用すべき機能を知りましょう
- ・目的に沿ったマニュアルを読みましょう

Step4 : 目的の達成に向けて

- ・設定した指標をモニタリングできるようにしましょう
- ・打ち手を検討しましょう

Step0 : Cariotで使う用語を知る



用語集

■ブラウザ(Webブラウザ)

—Internet Explorer、Google Chromeなど、インターネットを利用するときに使用するソフト ※CariotはEDGE、Chrome、FIREFOXを推奨しています

■Webアプリケーション

—Webアプリケーションとは、Webサーバ上で動作し、ブラウザを用いて利用するソフトウェアのこと ※CariotもWebアプリケーションです

■デバイス

—CariotのWebアプリケーションにデータを送るための機器 ※種類は車のシガーソケットやOBDに直接取り付ける車載器とスマートフォンがあります

■ホーム画面

—Cariotを開くと最初に表示される画面

■オブジェクト

—情報の塊を1つの型として定義したもの、Excelでいうとシート

例えば、Cariotの「車両」オブジェクトは車両の名前、車種、車検満了日などの情報を1つの型として登録情報を決められています

■タブ

—1つの機能を表すもの

例えば、Cariotの「車両」タブは「車両オブジェクト」を表示する機能

■レコード

—オブジェクトの中に登録された1つの情報、Excelでいうと行

例えば、Cariotの「車両」タブを開いた中の1つの車両データ一式

■項目

—レコードの中に登録された各情報、Excelでいうと列名(カラム)

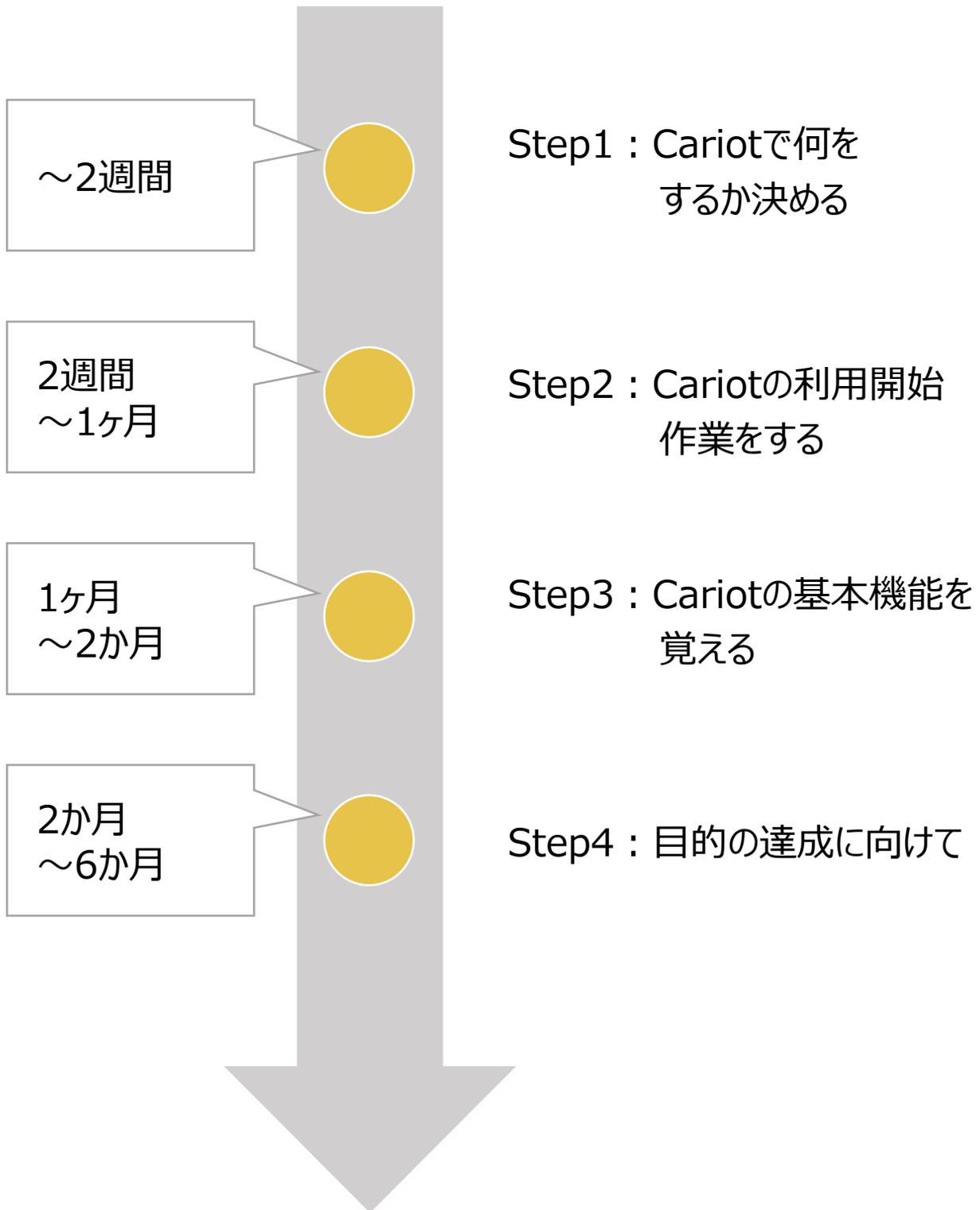
例えば、Cariotの「車両」タブの中の1つの車両の車両名や、車種など



Step1 : Cariotで何をするか決める



スケジュールを確認しましょう



仮説を検証するためのモニタリング指標を設定しましょう

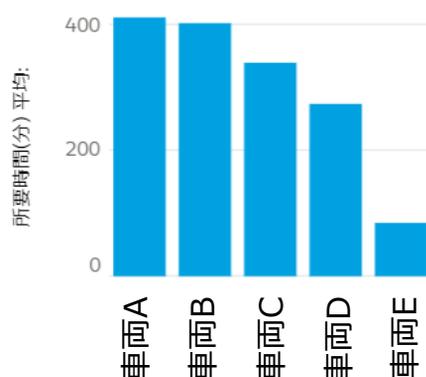
問題の仮説を立てたら、問題点をモニタリングするための指標を設定します。以下は一例です。

目的：走行実績を分析し非効率を改善したい
問題の仮説：Aルートはほかのルートよりも配送先が少ない、無駄な待機時間があるのでは？



▶ Cariotデータにてモニタリング

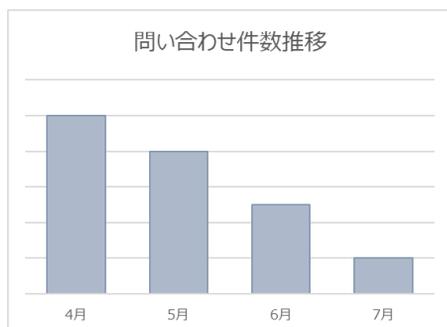
- ・平均の駐車時間
- ・配送先(拠点)の滞在時間



目的：いつ到着するか知りたい、知らせたい
問題の仮説：配送先から問い合わせ電話がたくさん来てしまい無駄な電話対応の時間が発生しているのでは？

▶ 自社内のフォーマットでモニタリング

- ・1日の問い合わせ対応時間
- ・1日の問い合わせ件数



Cariotカスタマーサポートでは指標設定のお手伝いをしております。お気軽にお問い合わせください。※問合せ先は巻末に記載

運用のルールを決めましょう

モニタリング指標が決まったら誰が、どのようにCariotを利用するか決めましょう。
担当を決めることで目的達成に向けた体制がわかりやすくなります。

管理者



さん

ユーザ1



さん

ユーザ2



さん

何を担当する？

ex) 危険運転の回数を
モニタリングする

ログインする
タイミングは？

ex) 1週間に2回

社内への報告
タイミングは？

ex) 3ヶ月に1回

Step2 : Cariotの利用開始作業をする



Cariotの機能を知りましょう

はじめに・・・

デバイスお届けお知らせメールが届いたらログインしてパスワードを変更しましょう

ログイン



The image shows the Cariot login page. It features a yellow header with the Cariot logo. Below the header is a white login form with fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). The username field contains a placeholder ending in '.co.jp'. There is a 'ログイン' (Login) button and a checkbox for 'ログイン情報を保存する' (Save login information). A link for 'パスワードをお忘れですか?' (Forgot your password?) is at the bottom. The footer contains the copyright notice: '© 2020 FLECT Co.,Ltd.. All rights reserved. | プライバシー'.

■推奨ブラウザ

- Google Chrom
- Mozilla Firefox

■ログインURL

<https://cariot.cloudforce.com/>

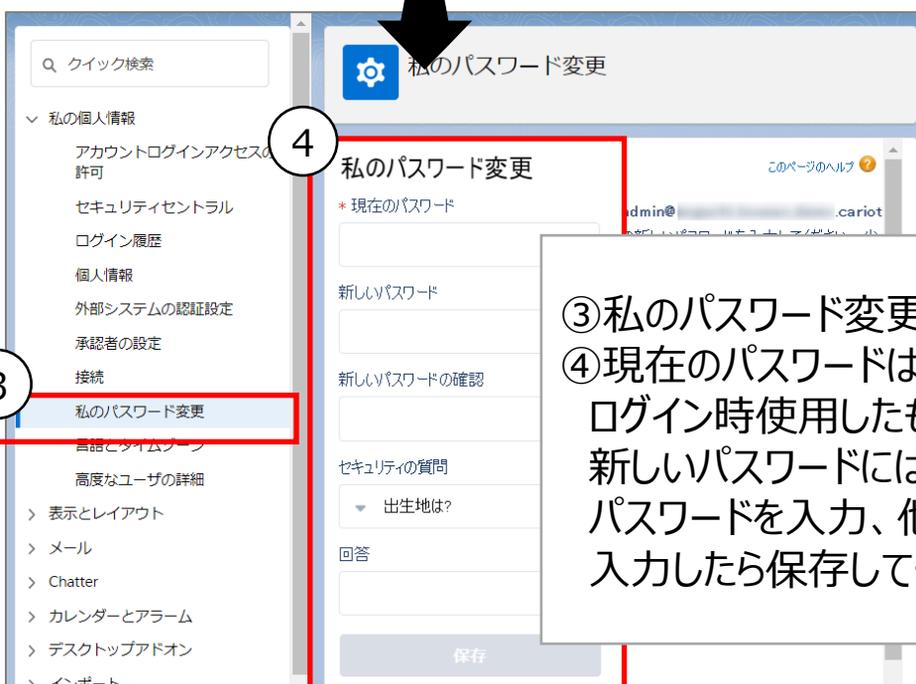
■ログインID、パスワード

メールにてお送りしております。

パスワード変更



- ①アイコンを押して
- ②「設定」をクリックしてください



- ③私のパスワード変更を選択
- ④現在のパスワードは初回ログイン時使用したもの、新しいパスワードには任意のパスワードを入力、他項目も入力したら保存してください



Cariotの機能を知りましょう

パスワードを変更したらホーム画面を見てみましょう

The screenshot shows the Cariot dashboard with the following components:

- Callout A:** Points to the notification bar at the top left, which includes a search bar and a notification count (0).
- Callout B:** Points to the right sidebar containing information about the version (2.31), manuals, status pages, and a search bar for manuals.
- Callout C:** Points to the main dashboard area, which features several data visualization charts and reports, including:
 - 危険運転レポート (Dangerous Driving Report)
 - 速度超過回数が多いドライバー (Drivers with many speed limit violations)
 - 急加速・急減速数の推移 (Trend of sudden acceleration/deceleration)
 - 燃料消費量の推移 (2016年8月) (Fuel consumption trend)
 - 車両利用報告書 車両毎 月次 (Vehicle usage report by vehicle)
 - 車両の直近の稼働日 (Recent operation days of vehicles)

A : お知らせ欄

—主にアップデート等の案内、障害等が発生した場合の連絡欄

B : 各種情報

—WebマニュアルやCariotホームページ等のリンク

—Webマニュアル検索窓

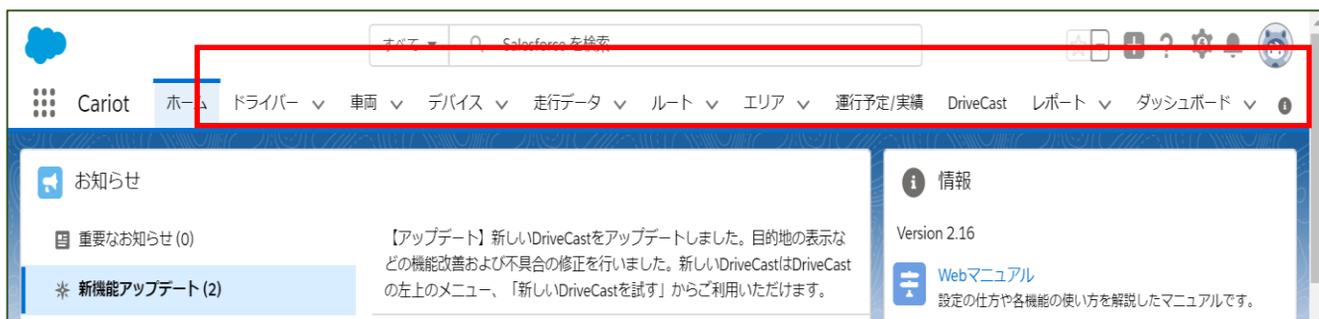
—最近確認したレコード等の表示欄

C : ダッシュボード

—標準で設定されている各種取得データのグラフ等の集計表示

Cariotの機能を知りましょう

パスワードを変更したらホーム画面を見てみましょう



- | | |
|-------------|---|
| ホームタブ | ・・・お知らせ、情報、ダッシュボードの表示画面 |
| ドライバータブ | ・・・登録されているドライバー様情報ページ（編集はP17のwebマニュアル参照） |
| 車両タブ | ・・・登録されている車両情報ページ（編集はP17のwebマニュアル参照） |
| デバイスタブ | ・・・ドライバー、車両、デバイスの紐づけ状況を確認できるページ |
| 走行データタブ | ・・・作成された走行データを確認できるページ |
| ルートタブ | ・・・リアルタイム位置情報を表示する「エリア」の設定や拠点(ジオフェンス)設定を行うページ |
| エリアタブ | ・・・車両位置等をリアルタイムで確認できるページ |
| 運行予定/実績タブ | ・・・車両利用予約等を行うページ |
| DriveCastタブ | ・・・特定の車両をスマホ等で閲覧できるURLを作成するページ |
| レポートタブ | ・・・各種取得データを集計等行うことのできるレポートを作成できるページ |
| ダッシュボードタブ | ・・・設定したレポートを一つの画面に配置し一元的に配置設定できるページ |

初期設定をしましょう

パスワードを変更したらホーム画面を見てみましょう

流れ	やる事	使うタブ
①ドライバー作成	<ul style="list-style-type: none">・Cariotで管理したいドライバーを登録する	ドライバー
②車両作成	<ul style="list-style-type: none">・Cariotで管理したい車両を登録する・車両にドライバーを紐付ける	車両
③車両とデバイス紐付け	<ul style="list-style-type: none">・Cariotに登録されているデバイスに車両を紐付ける	デバイス
④エリア・ルート作成	<ul style="list-style-type: none">・位置情報を見るためのルート、エリア設定する	ルート
⑤DriveCast作成	<ul style="list-style-type: none">・位置情報を見るためのDriveCast設定をする	DriveCast

※スマートフォンアプリ版をご利用の方は別巻の「スマホアプリ初期設定」もご参照ください。

初期設定をしましょうー①ドライバー作成

新規ドライバーを登録します※下記手順を必要台数分繰り返します



ドライバータブから作業します
新規ボタンを押すと
新規ドライバー登録画面が
ポップアップします

ドライバー名を入力し
保存ボタンを押すと登録が
完了します

初期設定をしましょう②車両作成

新規車両の登録と前頁で登録したドライバーとの紐付けをします
※下記手順を必要台数分繰り返します

車両タブから作業します
新規ボタンを押すと
新規車両登録画面が
ポップアップします

車両名を入力します
※社内の登録番号や車両番号など、
わかりやすい名前を付けるとデータを見
るときに判断しやすいです

ドライバー項目をクリック
検索窓でドライバーを検索して
紐付け該当者の名前をクリック
→保存ボタンを押すと登録が
完了します

キャンセル 保存 & 新規 保存

👉 Point : ドライバーを後から紐づける場合や変更する場合

「最近参照したデータ」をクリックして
「すべて選択」に変更します

紐付けたいドライバー名を検索、
該当のドライバーをクリックし
保存ボタンを押します

ドライバー項目の ✎ ボタンを押します
ドライバー名が入っている場合は×を押して
名前を消します

キャンセル 保存

初期設定をしましょう—③車両とデバイス紐付け

届いたデバイスのIDを確認し
デバイスタブから登録されているデバイスと車両の紐付けを行います

デバイスタイプ	シガーソケット		OBD2	ドライブレコーダー
デバイス名	AP1、AP3	EM1	AX7P	ER2
ID記載箇所				

※その他デバイス記載箇所→<https://cariot.atlassian.net/wiki/spaces/CWMLEX/pages/584287174/1>



デバイスタブを開いたら、「最近参照したデータ」を「すべて選択」へ変更します
確認したIDを元に該当するデバイス名(ID)の行にある▼ボタンを押し、「編集」を選択すると編集画面がポップアップします



車両項目をクリック
検索窓で車両を検索して紐付け該当車の名前をクリック
→保存ボタンを押すと紐付けが完了します

初期設定をしましょう—④エリア・ルート作成

まずはルートを作成します

ルートタブを開き、新規ボタンを押すと新規エリア登録画面がポップアップします

エリア名を入力し、保存ボタンを押すと登録が完了します

新規ルート

情報

ルート名
東京営業所

所有者
フレクトセールス

キャンセル 保存

登録したエリアの画面から「車両」タブを選択

エリアに紐付けたい車両に全てチェックを入れて選択
→保存ボタンを押して完了します

ルート

田中 車両 1 エリア 0 表示設定

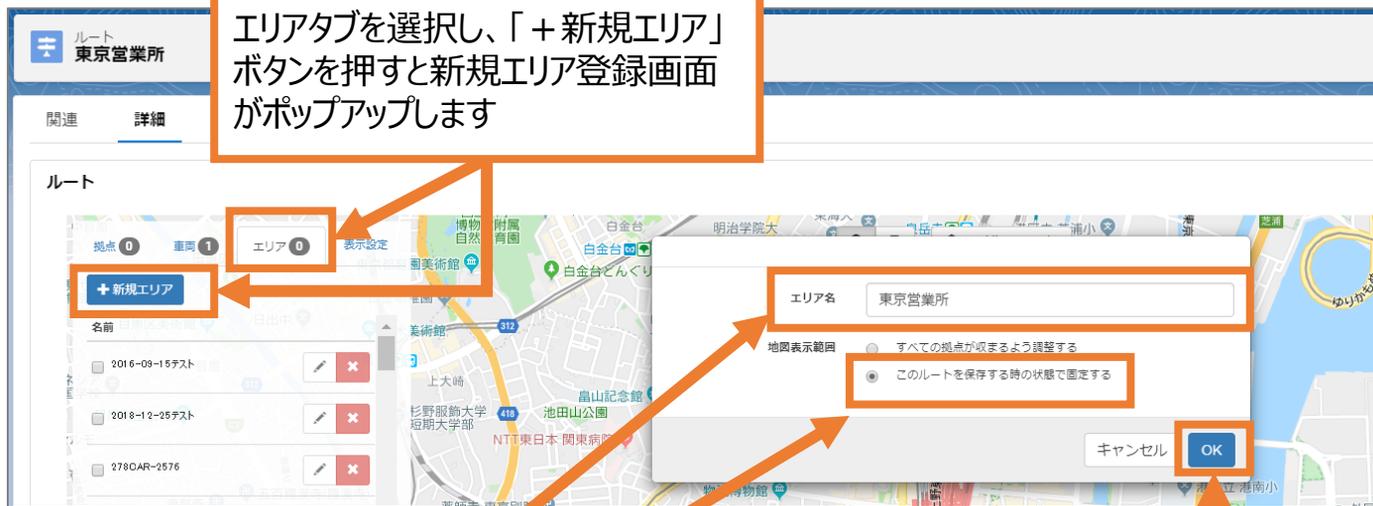
田中太郎の車両 [@general-616847560811782144](#)

保存

初期設定をしましょう—④エリア・ルート作成

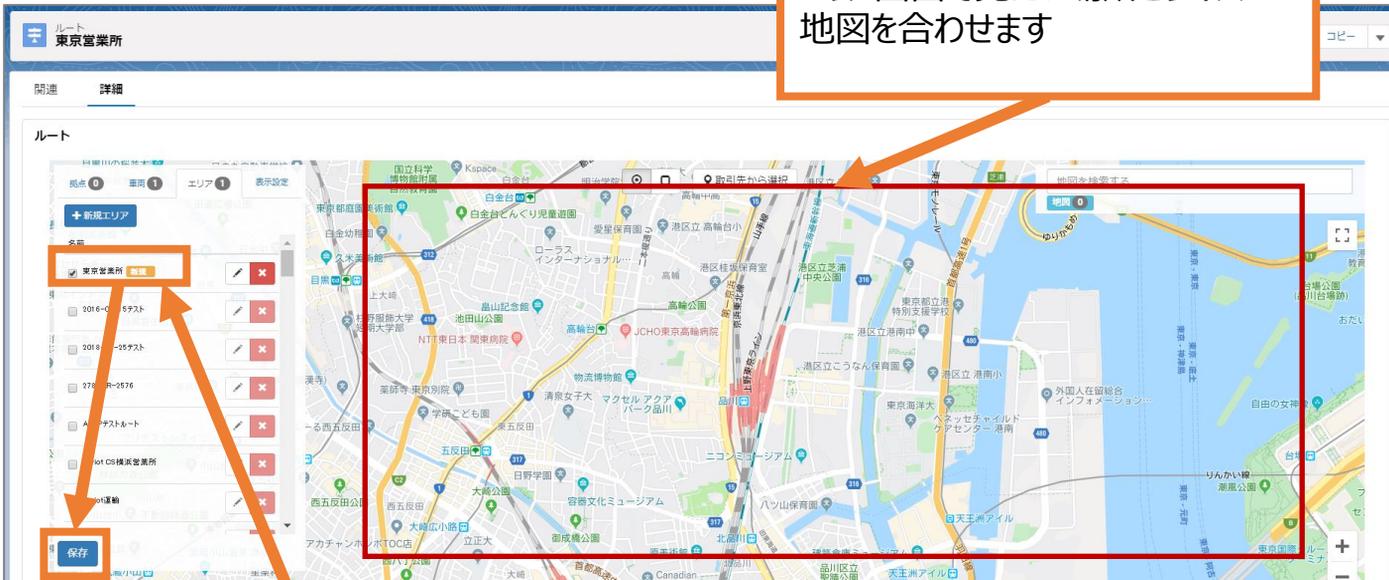
ルート画面からエリアを作成、紐付けし、車両位置を見るとき
の地図設定を行います

エリアタブを選択し、「+ 新規エリア」
ボタンを押すと新規エリア登録画面
がポップアップします



エリア名を入力、地図表示範囲を
「このルートを保存するときの状態に固定する」
を選択
→「OK」ボタンを押します

エリア画面で見たい場所とサイズに
地図を合わせます



作成した紐付け先のエリアに
チェックをつけて保存します

初期設定をしましょう—⑤DriveCast作成

DriveCastを作成します。「DriveCast」タブからを開き、設定を行います



DriveCast
新規 DriveCast

基本設定

配信名*

配信開始日時* 2020/02/05 0:00

配信終了日時* 2020/03/06 0:00

コメント

配信対象車両
表示名 ▼ デバイスUID ▼

配信対象ドライバー
ドライバー名 ▼ デバイスUID ▼

地図表示設定

次拠点への到着予測時間 表示する 表示しない

車両/ドライバーの表示条件 常に表示する

お知らせメール設定

配信終了日が近づいたらメール通知 通知しない

通知のタイミング 1 日前

通知先 1

通知先 2

自分のメールアドレスを設定

キャンセル 保存

配信名、配信開始日時、配信終了日時を入力してください
※配信終了日時は配信開始日時から180日後まで設定可能

DriveCastで表示したい車両、またはドライバーを選びます

次拠点への到着予測時間は、「表示しない」のままにしてください
※表示したい場合は拠点の登録が必要です

お知らせメール設定で「通知する」を選択、任意の日数を入力後ご自身のメールアドレスを入力し保存ボタンを押してください

※その他項目は必要に応じて設定ください

※配信終了日が近づいたら修正が可能です。修正日からさらに180日後まで延長可能です

デバイスを取付けましょう

おめでとうございます！これで初期設定が終わりました。
早速車両にデバイスを取付けて、走ってみましょう。

※スマートフォンアプリ版をご利用の方はアプリをダウンロードしてログインをしてください。



デバイスを取付けましょう

デバイスを取り付ける際は正常に作動しているか確認してください
※正常に動いていない場合は「Cariotカスタマーサポート」へご連絡ください

デバイス種類	正常起動時のランプ状態
AP1 (ATrack AP1 : シガー ソケット)	赤色LED : 点滅 青色LED : 点灯
AP3 (ATrack AP3 : シガー ソケット)	赤色LED : 点滅 青色LED : 点灯
AX9 (ATrack AX9 : OBD2)	赤色LED : 点滅 緑色LED : 点滅 青色LED : 点灯
AX7P (ATrack AX7P : OBD2)	赤色LED : 点滅 緑色LED : 点滅 青色LED : 点灯
EM1 (Ecomott EM1 : シガー ソケット)	橙色LED : 点灯 緑色LED : 点灯 青色LED : 点灯
ER2 (Ecomott ER2 : ドライブ レコーダー ・シガー ソケット)	ERR以外の3つのLEDランプが点灯

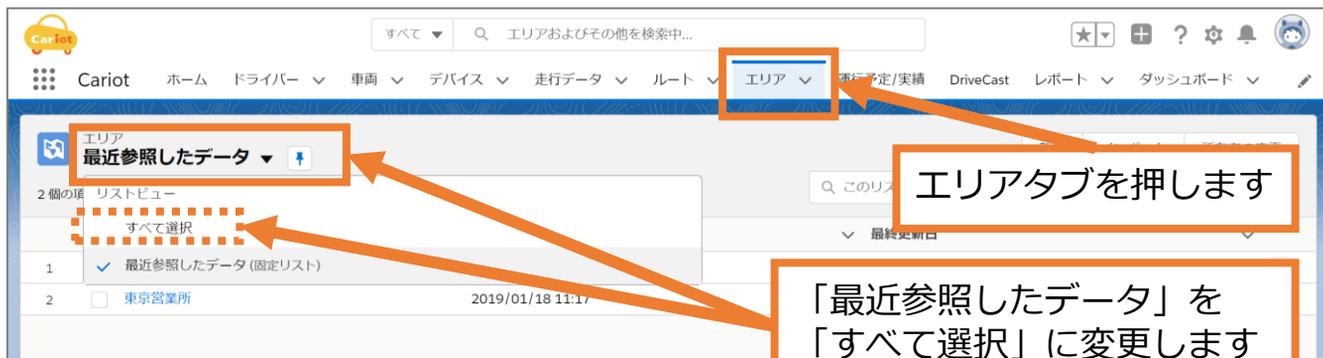
データを見てみましょう

デバイスを取り付けたら、データが作成されているか確認しましょう

- ①エリア画面を見る
- ②走行データを見る

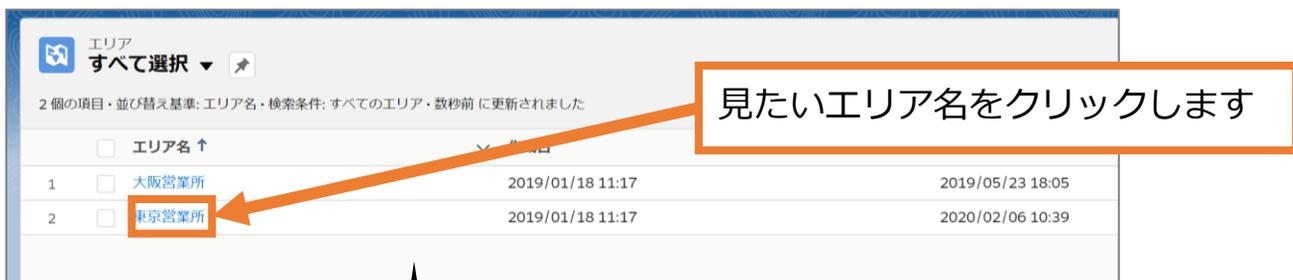
データを見てみましょうー①エリア画面を見る

あらかじめ設定したエリア内における車両の現在位置を確認することができます

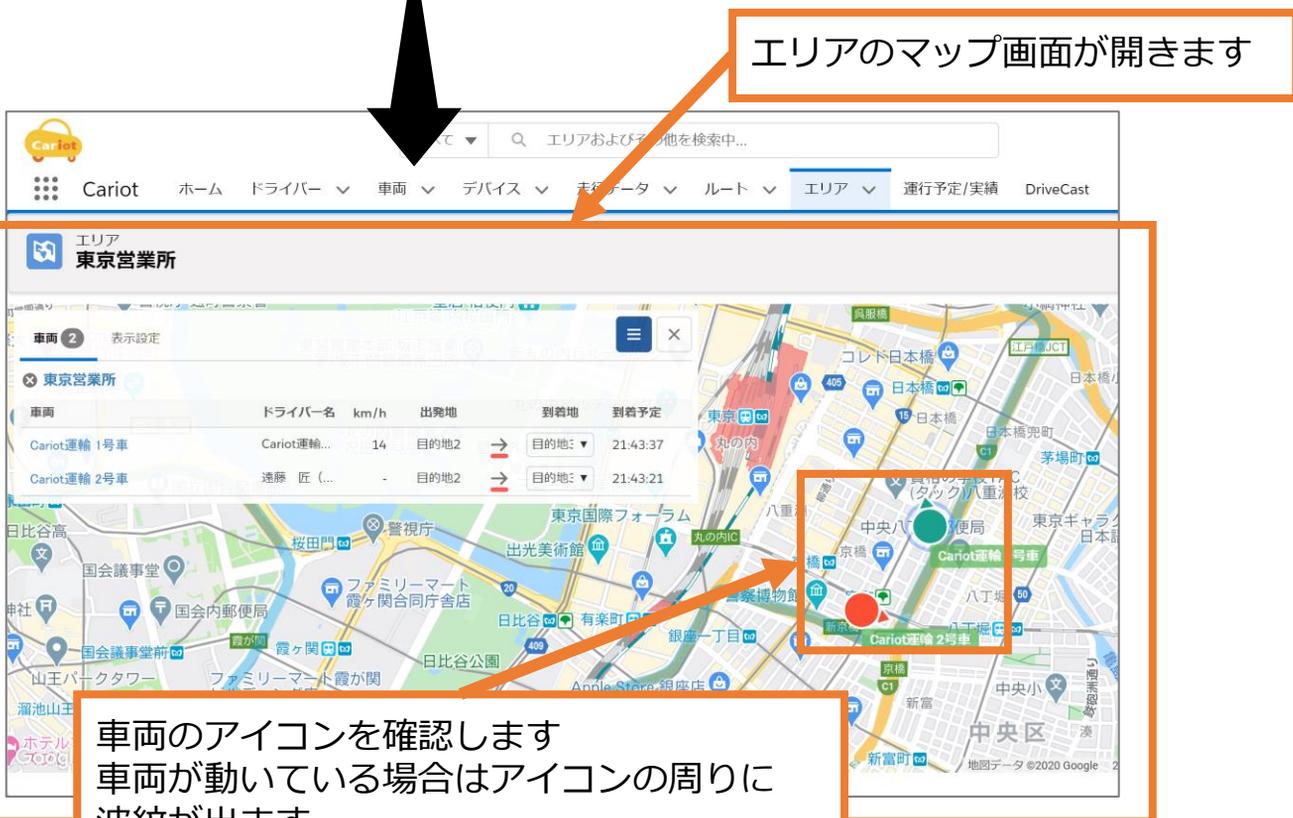


エリアタブを押します

「最近参照したデータ」を「すべて選択」に変更します



見たいエリア名をクリックします



エリアのマップ画面が開きます

車両のアイコンを確認します
車両が動いている場合はアイコンの周りに波紋が出ます

データを見てみましょうー②走行データを見る

走行時の最高速度やアイドリング時間などのデータを確認できます

「走行データ」タブをクリックします

「最近参照したデータ」を「走行データ一覧」に変更します

見たい走行データをクリックします

走行データ	デバイス	ドライバー	車両	走行距離[km]	走行時間[分]	開始時刻	開始
20200323-5731	atrack-20190125023	古川 和博	大阪 10号車	0.0	213	2020/03/23 16:35	〒6
20200323-5728	atrack-20190125023	古川 和博	東京 3号車	1.1	228	2020/03/23 16:20	〒3
20200323-5730	atrack-20190125033		大阪 7号車	0.3	229	2020/03/23 16:19	〒6
20200323-5729	atrack-20190125031	鈴木 美恵子	大阪 1号車	1.1	229	2020/03/23 16:19	〒6
20200323-5727	atrack-20190125024	松本 隆	東京 4号車	0.0	236	2020/03/23 16:13	〒1
20200323-5726	atrack-20190125022	岡本 耕平	東京 2号車	6.3	237	2020/03/23 16:11	〒2

画面上部には、ドライバー、車両、走行開始時刻等、主な情報が表示されます

「詳細」タブには、走行の詳細なデータが表示されます

項目	値	項目	値
走行データ	20200323-5734	所有者	Cariot 開発
ドライバー	古川 和博	デバイス	atrack-20190125023
車両	東京 3号車	走行データキー	atrack-20190125023-1584991237000
開始時刻	2020/03/24 4:20	終了時刻	2020/03/24 16:20
開始住所	〒327-0813 栃木県佐野市黒神町1 0 3 9	終了住所	〒379-2222 群馬県伊勢崎市田部井町1丁目9 5 1-2
走行距離[km]	4.7	走行予定	
走行時間[分]	719.981	燃費[km/l]	0.0
燃料消費量[l]	0.0	燃費[km/l]	0.0
統計情報		最大加速度[mg]	0.00
最高速度[km/h]	104.0	最大連続運転時間[分]	90.967
運転時間(合計)[分]	563.75	最大連続アイドリング時間[分]	20.367
アイドリング時間(合計)[分]	146.799		

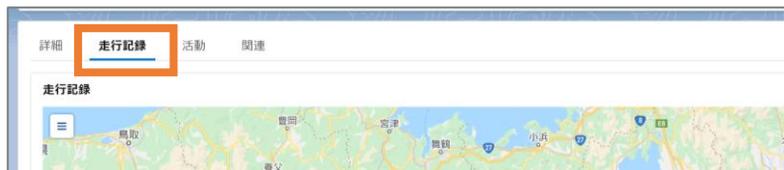
次ページに続きます



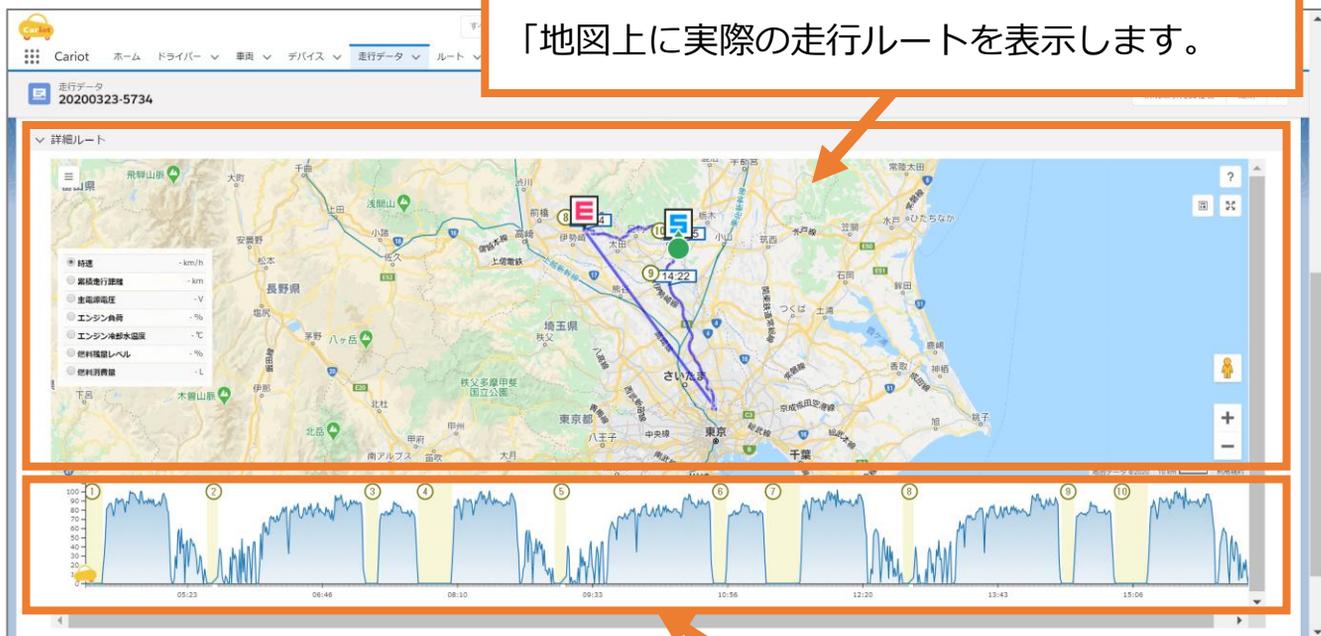
データを見てみましょうー②走行データを見る

「詳細タブ」の中の詳細ルート欄では、実際に走行した道のりを地図上で確認できます（※）

（※）「走行記録」タブからも、同じ内容を見ることができます

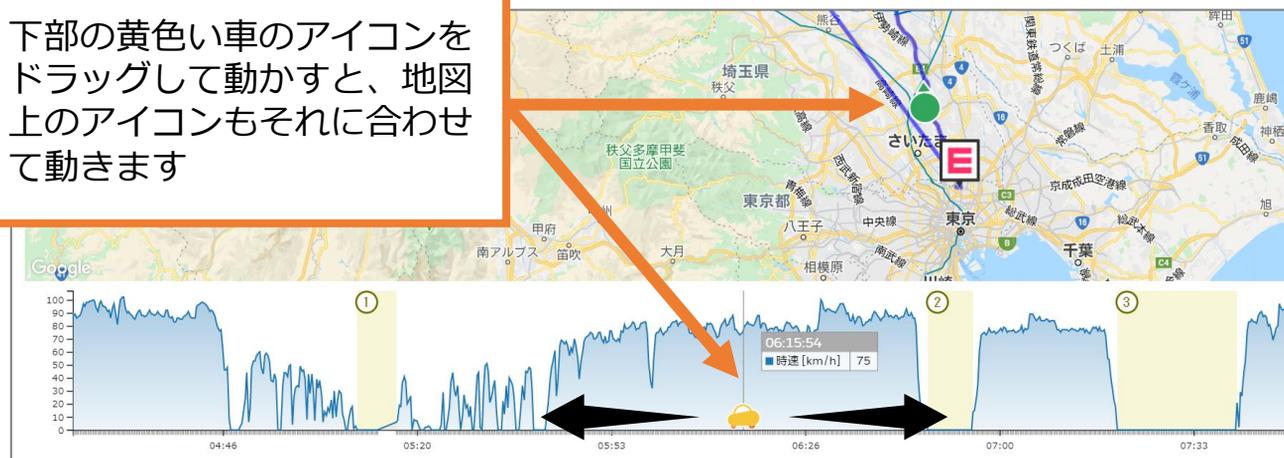


「地図上に実際の走行ルートを表示します。」



走行時の速度を時系列で確認
できます

下部の黄色い車のアイコンを
ドラッグして動かすと、地図
上のアイコンもそれに合わせ
て動きます



次ページに続きます

データを見てみましょうー②走行データを見る

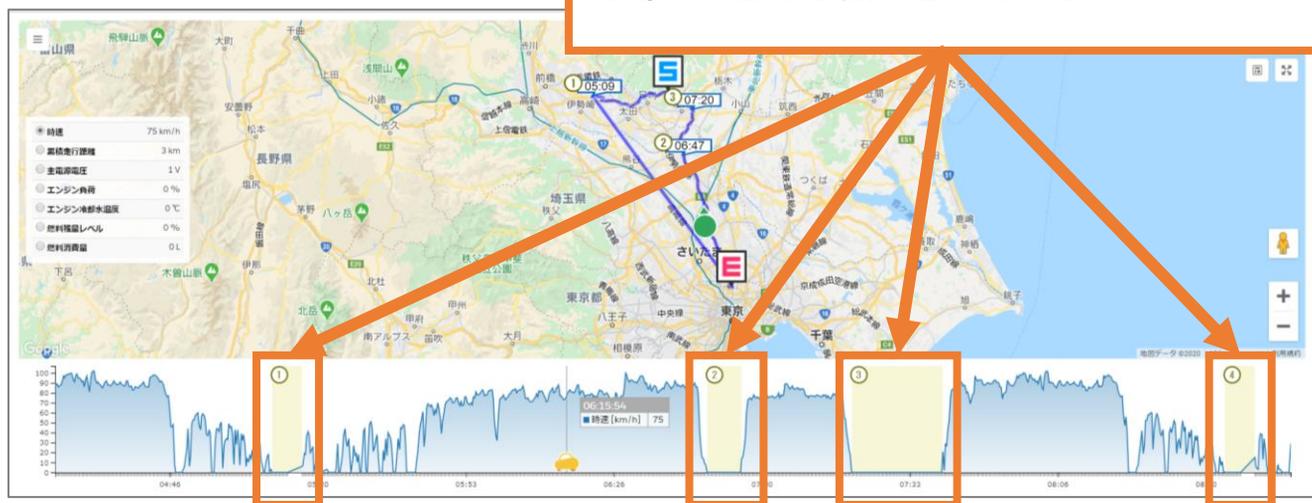
時速や累計走行距離、主電源電圧等の走行データを確認できます

地図上の左側に表示されている項目の中から、下部のグラフの表示内容を選択できます

例) 「累計走行距離」を選択すると、下部のグラフは累計走行距離を示します



下部の①、②といった番号は、走行中に駐車した順番を示しています。地図上には駐車した場所に番号が表示されています



次ページに続きます



データを見てみましょうー②走行データを見る

地図の表示を好きなようにカスタマイズできます



地図の左上に表示されている  をクリックすると、地図の表示をカスタマイズできます

「地図」か「航空写真」が表示を選択できます

「位置情報補正」を にすると位置情報の補正が可能です

「拠点表示」を にすると、拠点を表示します
さらに、以下の詳細設定が可能です

- ・「●分以上滞在するものだけを表示」(0~30分まで)
- ・「拠点の位置をアイコンで表示」するかどうか
- ・「拠点名を表示」するかどうか
- ・「密集した拠点はグルーピングして表示する」かどうか

「イベント表示」を にすると、急加速・急減速・速度超過した際にイベントとして表示します

「停車位置表示」に にすると、停車の順番・時間を表示します

「車両データ表示」を にすると
地図上に右図の項目を表示します →

● 時速	77 km/h
● 累積走行距離	3.5 km
● 主電源電圧	1 V
● エンジン負荷	0 %
● エンジン冷却水温度	0 °C
● 燃料残量レベル	0 %
● 燃料消費量	0 L

「開始場所・終了場所表示」を にすると、地図上に
  のマークを表示します

Step3 : Cariotの基本機能を覚える

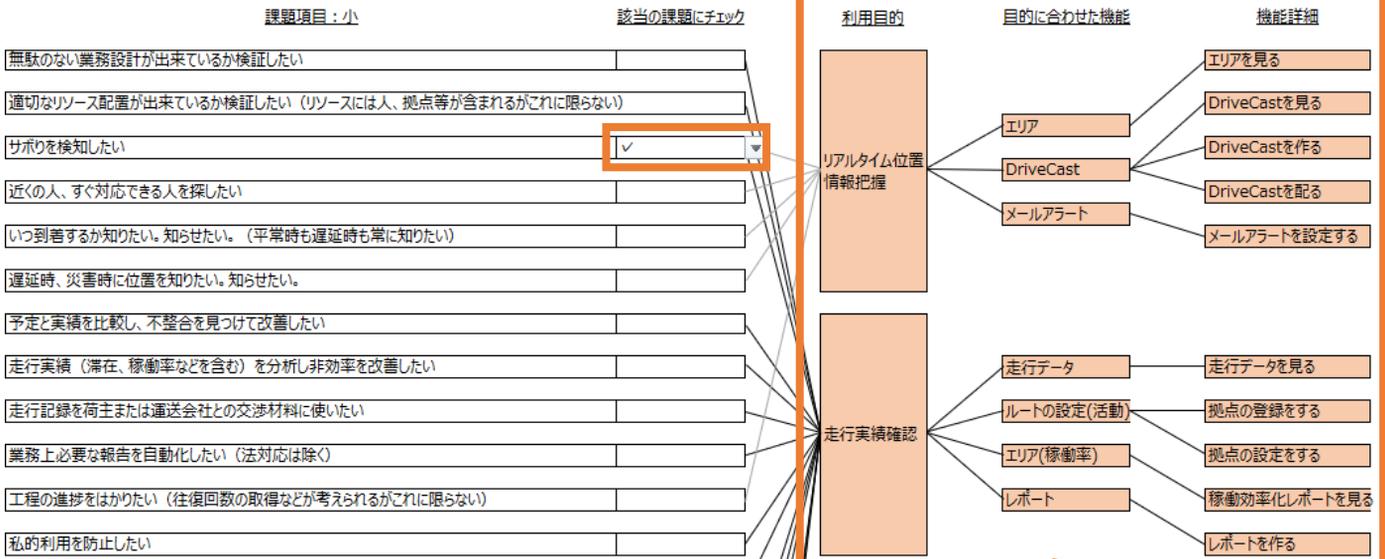


目的に沿った利用すべき機能を知りましょう

本ステップマニュアルと一緒に送りしたExcelシート「Cariot_利用目的別使用機能チャート」を使用します。



ファイルを開くとチャートが表示されます。
P5で選択したご利用目的の横、E列にチェックリストから✓を選んで入力します。



チェックを入力すると、ご利用いただくべき機能が色付けされます。

目的に沿ったマニュアルを読みましょう

チャートの利用機能ごとにマニュアルをご用意しているのでマニュアルに沿って設定を進めます。

リアルタイム
位置情報
把握

マニュアル①
リアルタイム位置情報把握

走行実績
確認

マニュアル②
走行実績確認

安全運転
管理

マニュアル③
安全運転管理

車両に関わる
情報の管理

マニュアル④
車両に関わる情報の管理

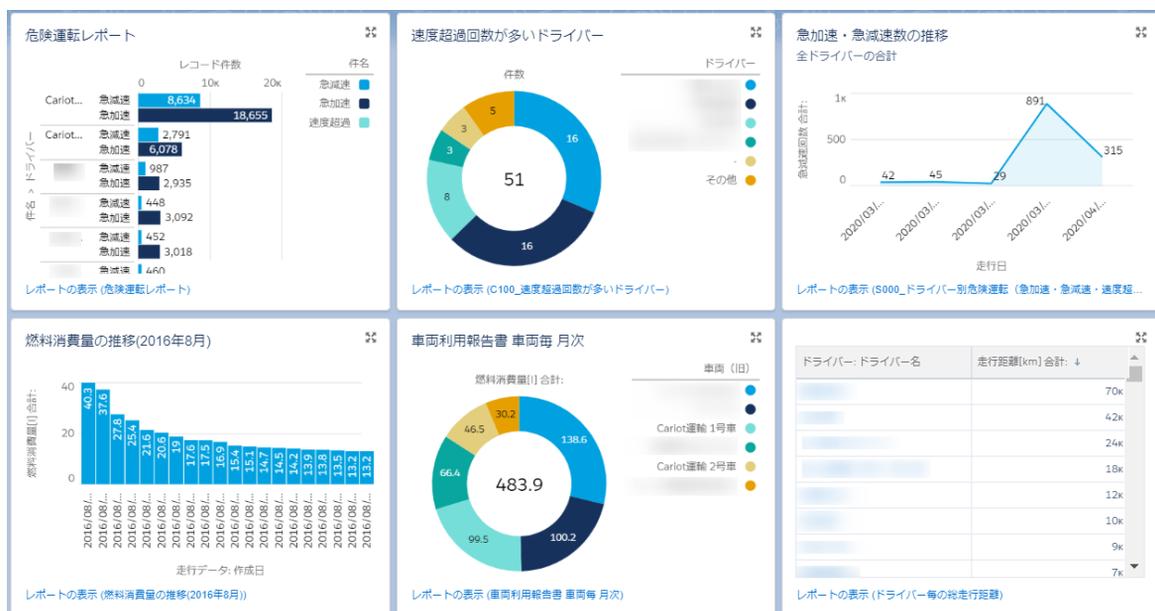
Step4 : 目的の達成に向けて



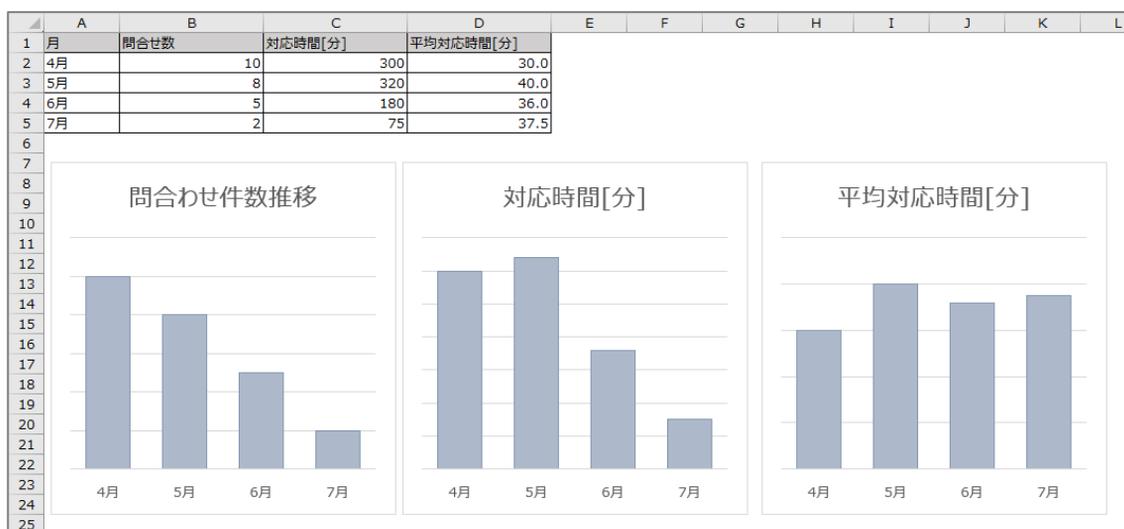
設定した指標をモニタリングできるように しましょう

P8で設定した指標をモニタリングできるようにデータの蓄積を行います。
Cariot上で見れる指標と見れない指標で以下のように管理します。

▶ Cariotで見れる指標の場合/レポート・ダッシュボードで管理
ex) 走行距離・時間、拠点滞在数・滞在時間、危険運転数、稼働時間率 etc..



▶ Cariotで見れない指標の場合/Excelなどで管理
ex) 顧客問い合わせ対応時間、日報作成時間 etc..



Cariotカスタマーサポートでは指標設定のお手伝いをしております。
お気軽にお問い合わせください。※問合せ先は巻末に記載

打ち手を検討しましょう

指標のモニタリングを行い仮設立てした問題が
検証できたら、改善のための打ち手を検討しましょう。

→次のページから打ち手の例を掲載します

打ち手を検討しましょう

Cariotで見れる指標パターン①

目的

- ・安全指導を行い、事故を減らしたい

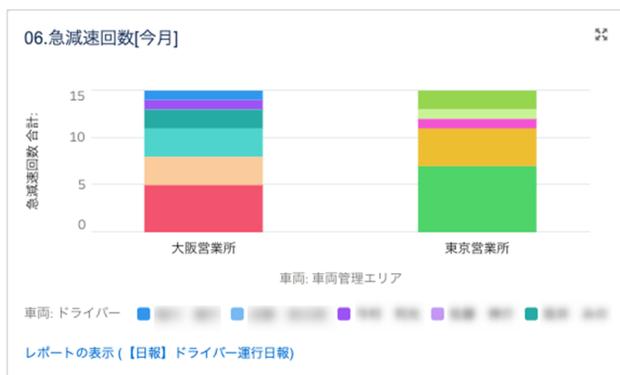
指標

- ・週次・月次で危険運転数が右肩下がりに減少しているかをモニタリングし、○%削減が達成できているかを確認します

改善策

- ・危険運転数上位○名のドライバーには安全運転指導を実施します
- ・危険運転数が改善しないドライバー向けに、指導プランを策定します

<急加速・急減速検出例>



<危険運転数推移例>



危険運転数の推移を週次・月次でモニタリングし、削減率・削減数を確認します

現状の危険運転数はドライバー毎・車両毎・営業所毎などに集計が可能です。発生時にリアルタイムにカウントされます

打ち手を検討しましょう

Cariotで見れる指標パターン②

目的

- ・無駄のない業務設計が来ているか検証したい

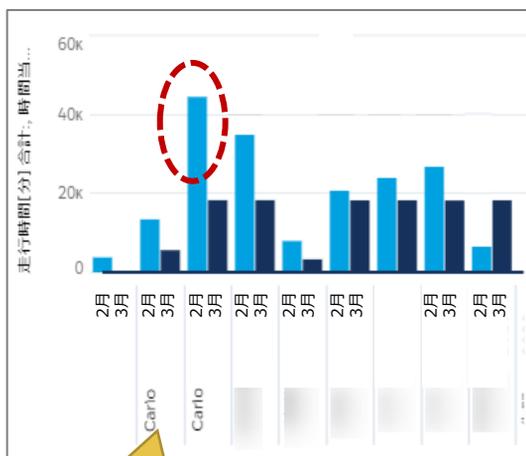
指標

- ・走行距離が短く、走行時間が長い走行(=非効率走行)の可視化
→時間あたり走行距離をモニタリングします

改善策

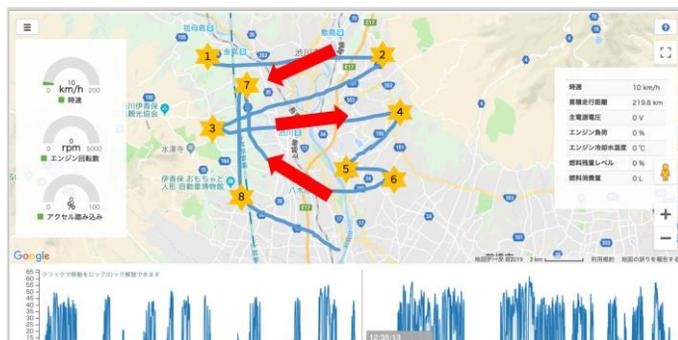
- ・非効率走行が多いドライバーへ、効率の良い走行プランを指導します

<時間あたり走行距離>

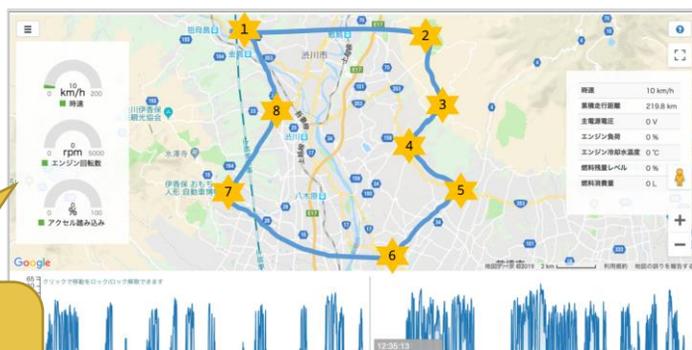


時間あたり走行距離を可視化して、問題がある車両を見つけます

<実際の非効率走行データ>



<効率の良い走行プランの指導>



実際の走行データを確認し、効率の良い走行プランを検討、指導します

打ち手を検討しましょう

Cariotで見れる指標パターン③

目的

- ・ 走行実績（滞在、稼働率などを含む）を分析し非効率を改善したい

指標

- ・ 車両ごとの平均滞在時間を可視化、モニタリングします

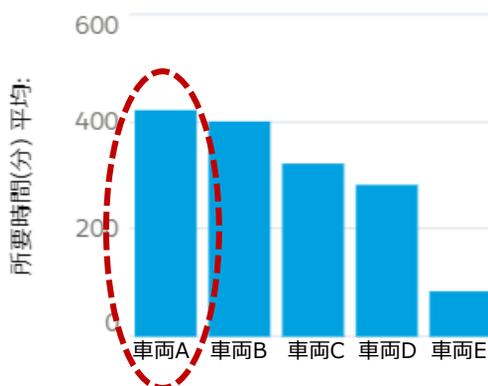
改善策

- ・ 滞在時間が長くなっている要因の滞在場所での作業などを短縮するよう指導します

<車両ごと平均滞在時間の可視化>

平均の滞在時間が長い車両を特定する

滞在時間が長くなっている要因の滞在場所を特定して、短縮するよう指導する



<車両ごと平均滞在時間の可視化>

レポート: 車両に関連する活動
P060_滞在記録

日付	ドライバー	車両: 車両名	件名	開始	終了	所要時間(分)
		第一営業部	: 滞在	2019/05/31 5:17	2019/05/31 5:18	1
		第一営業部	: 滞在	2019/05/31 4:44	2019/05/31 6:04	80
		第一営業部	: 滞在	2019/05/31 7:10	2019/05/31 8:30	80
		第一営業部	: 滞在	2019/05/31 2:17	2019/05/31 3:37	80
2019/07/18 (1)			: 滞在	2019/07/18 5:40	2019/07/20 14:59	3,439
2019/07/20 (1)			: 滞在	2019/07/20 15:26	2019/07/21 14:31	1,385
2019/07/21 (1)			: 滞在	2019/07/21 17:48	2019/07/21 17:48	0
2019/08/03 (1)			: 滞在	2019/08/03 16:02	2019/08/04 14:21	1,339
2019/08/04 (2)			: 滞在	2019/08/04 18:28	2019/08/12 14:17	11,269
			: 滞在	2019/08/04 18:28	2019/08/04 18:28	0
2019/08/12 (1)			: 滞在	2019/08/12 15:56	2019/08/12 15:56	0
2019/08/17 (1)			: 滞在	2019/08/17 15:33	2019/08/24 11:54	9,861

打ち手を検討しましょう

Cariotで見れない指標パターン①

目的

- ・いつ到着するか知りたい。知らせたい(問い合わせ対応策)

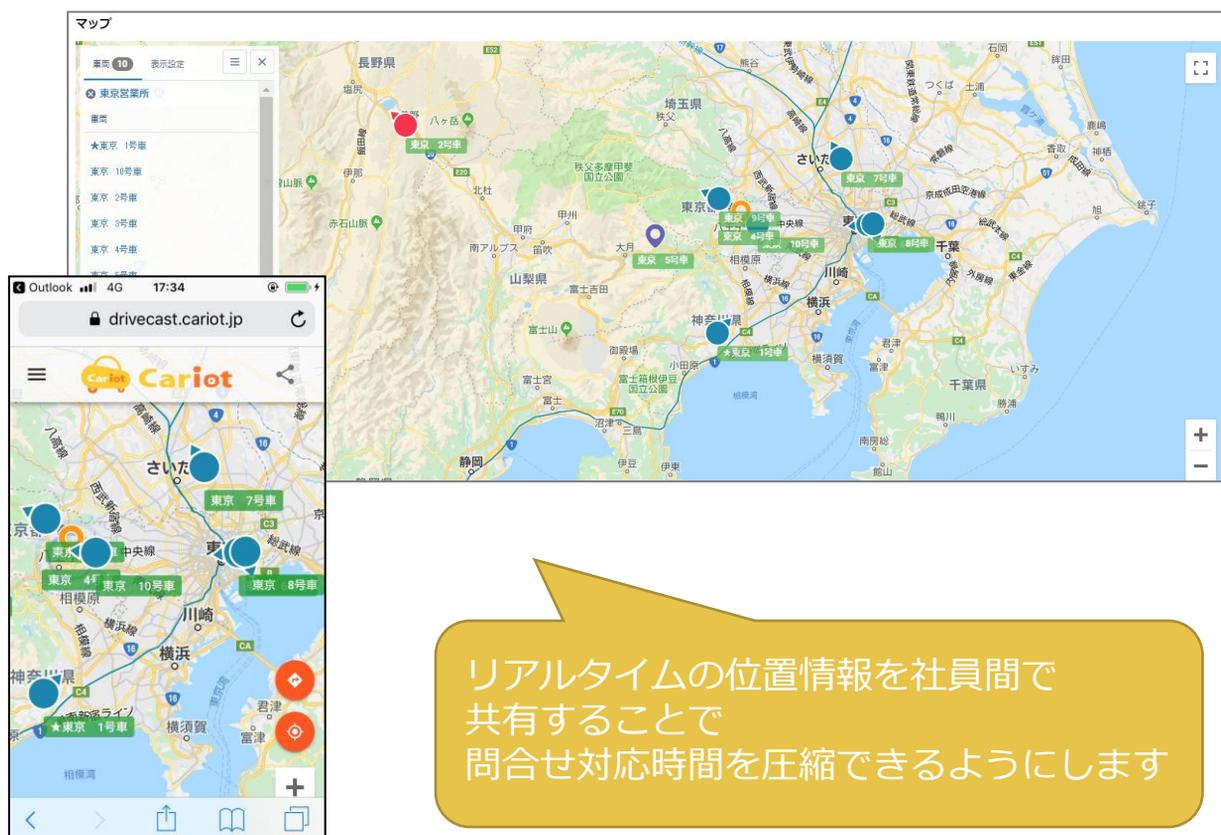
指標

- ・到着問合せの対応時間をモニタリングします

改善策

- ・対応をする社員でDriveCastなどを共有し、場所をすぐに答えられるようにします

<エリア、DriveCastでの場所把握>



リアルタイムの位置情報を社員間で共有することで
問合せ対応時間を圧縮できるようにします

お疲れさまでした！

ここまででCariotの利用し始めから、モニタリングの仕方までが完了しました。

明日からCariotをたくさんご活用いただけることを、Cariotカスタマーサポート一同願っております。

何かお困りのことがございましたら、以下の問い合わせ窓口までお気軽にご相談ください。

<Cariotカスタマーサポート>

メール：cariot_support@flect.co.jp

電話：050-6861-9011(平日10時-18時)

※お問い合わせ内容には2営業日以内に回答いたします。

